

第2回 校内研究授業 道徳科 第2学年1組

令和元年6月26日(水)

主題名「やりぬく心」

(A 努力と強い意志)

教材名「さかあがりができたよ」

<本授業の意図>

○ 困難なことにもくじけずに努力することは、自分を向上させるために大切なことである。つらいことや難しいことに直面して、やめてしまおうとする気持ちを克服して、物事を最後までやり遂げたときの喜びが自分を大きく成長させることになる。そのことを踏まえ、結果だけではなく、そこに至るまでの努力の大切さを考えられるようにする授業である。



① どんな鉄棒遊びをしたことあるかな？
今日は、鉄棒が出てくるお話だよ。



② みんな前に集まって。「さかあがりできたよ」を紙芝居にしたから聞いてみよう。



③ 一人で、逆上がりで回れなかった時、私はどのような気持ちだったかな？



④ ワークシートに自分の考えを書いてペアになって交流しよう。



⑤ 逆上がりが何回もできるようになった時、私はどのような気持ちだったかな？



⑥「あきらめないでよかった」
「これからも続けて、もっと上手になろう」



⑦ みんなも、「私」みたいに、あきらめずに取り組んだことはありますか？
(自己への振り返り)



⑧ 先生の説話を聞こう。
「バレーボールを上手になるために、毎日、ジャンプの練習をしていた子の話です」

<「深い学び」の実現に向けての手だて>

・発言をした児童に、「問い返しの発問」によって深く考えさせる ⇒ 聞き返しの発問は「こんな時にはこう聞き返そう」など、パターンを用意しておき、児童の発言を様々な方向から掘り下げていくようにする。(ねらいとする価値に迫るための「問い返しの発問」)
C:「あきらめなくてよかった。」→T:「もし、あきらめていたら・・・。」→ C:「できなかった」
C:「あきらめなかったからできた。」

<自己への振り返りの反応>

・「私」みたいに、「あきらめずに頑張ったこと」と、「これからどうしていきたいか」ということについての反応 ⇒ 「空手の型を毎日練習したら、試験に合格した。」 ⇒ 「これからも練習をがんばっていきたい。」
「スケートを週6回練習したら、上手になってお母さんに褒められた。」 ⇒ 「アクセルまでできるようになりたい。」